ONKYO®

スピーカーシステム

D-22XC

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。



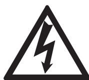
誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。



誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた
△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。


高温注意


感電注意

⊘記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。


分解禁止


ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。


電源プラグをコンセントから抜く


必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く


電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない


分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■ 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない


水場での使用禁止


水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

使用上のご注意

■ 長時間音がひずんだ状態で使わない


禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 長期間大きな音で使用しない


禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない


禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。


注意

本機を壁に取り付けるときは、壁の材質、また、桟などの位置に注意してください。(ネジの保持強度に大きな差が出ますので、販売店にご相談ください。)

■ 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない


禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。

■ 配線コードに気をつける


注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

使用上のご注意

■ 音量に注意する


禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■ キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない


禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■ 本機の上にものを乗せたまま移動しない


禁止

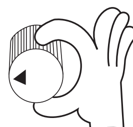
本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■本機のお手入れについて

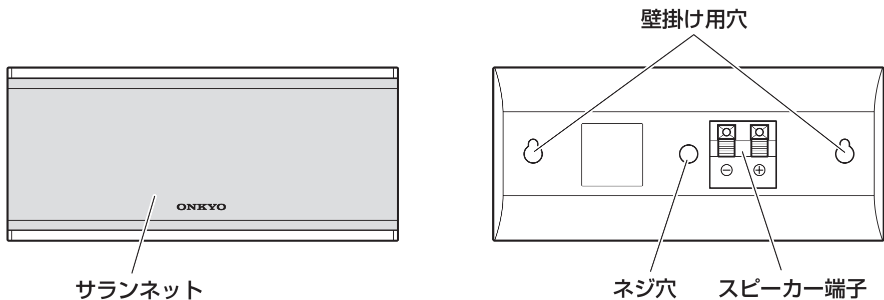
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた「やわらかい」布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



各部の名称



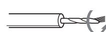
接続のしかた

■ スピーカーを接続する前に

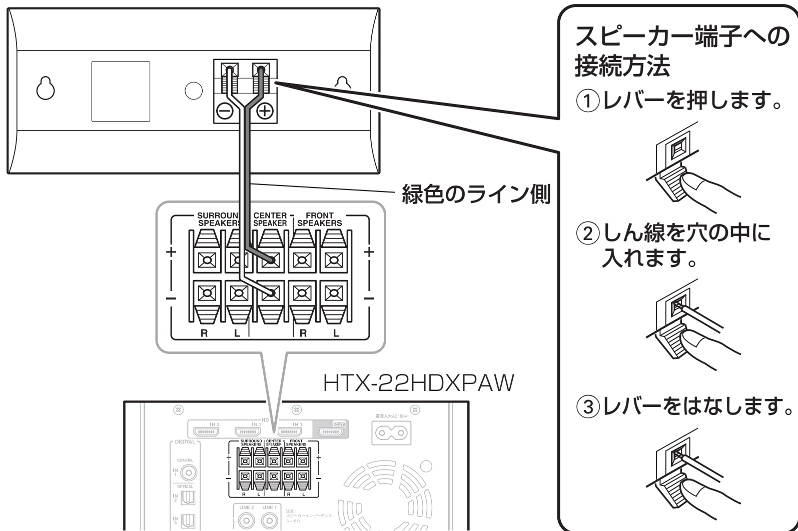
付属のスピーカーコードの準備をします。

1. スピーカーコードのビニールカバーの先をはずします。

2. しん線をよじります。



例）

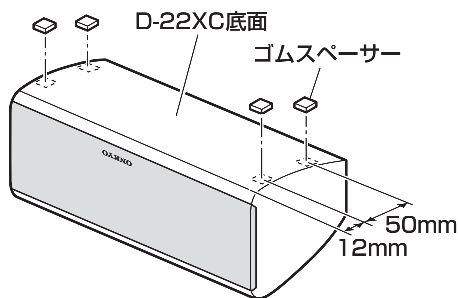


- スピーカーのプラス⊕とアンプのプラス⊕を、スピーカーのマイナス⊖とアンプのマイナス⊖を接続します。付属のスピーカーコードの緑色のラインがある方をプラス⊕側に接続してください。
- プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続すると、音声が不自然になりますのでご注意ください。
- アンプの故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスを絶対に接触させないでください。

付属のゴムスペーサー・壁掛け用穴を使う

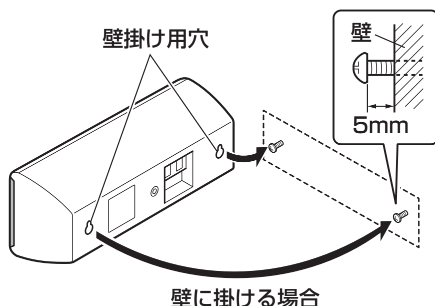
■ 付属のゴムスペーサーを使う

より良い音でお楽しみいただくために、付属のゴムスペーサーのご使用をおすすめします。
また、ゴムスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。



■ 壁掛け用穴の使いかた

本機の背面にある壁掛け用の穴を使用して、本機を壁に掛けることができます。
本機背面の壁掛け用の穴を2箇所使用してください。
2個の壁掛け用穴の間隔は183mmです。

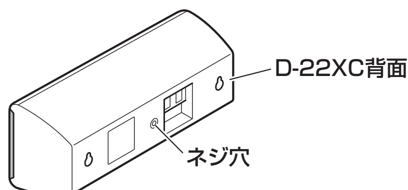


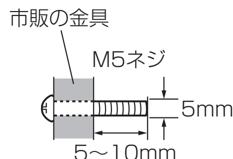
ご注意

壁に取り付ける場合は、壁の強度に充分注意してください。材質、桟（さん）の位置により、ネジの保持強度に大きな差が出ます。ネジは頭の直径が10mm以下、ネジ部の直径が4mm以下で、できるだけ太く長いものをご使用ください。（業者の方にご相談いただくのが安心です。）

■ 市販のスタンドや金具を使って固定するには

市販のスタンドや金具を使用できるように、スピーカーの背面にM5用ネジ穴1個を設けています。
取り付け方法については、ご使用になるスタンドや金具の説明書をご覧ください。
スタンドや金具をご使用になるときは、スタンドや金具の厚みを差し引いた有効ネジ長が5～10mmのものをご使用ください。





取り扱いついて

■ お手入れについて

本機の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

■ テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

ご注意

テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響でオーディオ機器の電源を切っていてもスピーカーから雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、テレビからさらにスピーカーを離してご使用ください。

■ 取り扱い上のご注意

本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

主な仕様

形式：フルレンジバスレフ型
定格インピーダンス：6Ω
最大入力：40W
定格感度レベル：84dB/W/m
定格周波数範囲：70Hz～20kHz
キャビネット内容積：1.4ℓ
外形寸法：230(W)×102(H)×113(D)mm
(サランネット､ターミナル突起部含む)
質量：0.8kg
使用スピーカー：8cm OMFコーン型　1個
ターミナル：プッシュ式
その他：防磁設計（JEITA）

付属品：スピーカーコード　3.0m（1）
ゴムスペーサー（1組〈4個〉）
取扱説明書（本書)(1）
保証書（1）
オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内（1）
ユーザー登録カード（1）

※仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 D-22XC
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について
詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は
お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　（　　）

メモ：

- -

- -

- -

ONKYO®

オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　10：00～18：00
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G1003-1



SN 29400383